

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

日本の社会では誰もが一緒であることが正しいとされる傾向が強かった。(1) **ア**、
「平等こそ正義」という発想である。(2) **エ** 同じ年に入社した社員同士は、みなが横
並びで、大体同じくらいの金額の給料をもらい続けることが正しいと考えられてきた。
(3) **オ**、誰かひとりが飛び抜けて出世をすると、憎悪の対象にさえなってしまう。
これは会社組織に限ったことではない。仮に、インターネット上で、あなたの知り合いの
誰かが「幸せそうな写真」をアップしていたでしょう。(4) **ウ**、その時あなたが「あ
いつばかりずるい」などと思ったとしたら、あなたは典型的な旧来の日本的発想の持ち主
だということになる。(5) **イ**、それこそ「平等こそ正義」という発想の現れであるからだ。

ア いわば イ なぜなら ウ もし エ たとえば オ だから

- (1) **ア** (言い換える) (2) **エ** (例をあげる) (3) **オ** (原因から結果)
(4) **ウ** (くたら、とセット) (5) **イ** (理由の説明)

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～ケから選び、記号で書き入れ
ましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

老人の認知症の原因として、脳の部位のひとつである前頭前野の機能低下があげられるこ
とがある。(6) **ク**、前頭前野とはいったいどのような働きをする部位なのだろうか。前
頭前野は、人間の思考、感情、意志決定やコミュニケーション能力などを担う部位である。
(7) **カ**、人間はチンパンジーやゴリラと比べて、この前頭前野が大いに発達している。
(8) **コ**、この前頭前野こそ、人間が人間らしく生きるために不可欠な部位なのである。
(9) **ケ**、脳の働きは体力と同じく、年齢とともに衰えていく。(10) **キ** この前頭前野は、
簡単な計算や音読を繰り返すことで鍛えることができる。計算ドリルや教科書
の音読に取り組むことは、将来的に人間らしい生き方を守ることもつながるのである。

- カ また キ だが ク それでは ケ 確かに コ つまり
(6) **ク** (前の内容をうけて次の話題に進む) (7) **カ** (同じような内容を並べる)
(8) **コ** (前の内容をまとめて言う) (9) **ケ** (事実をいったん認める) (10) **キ** (逆の方向の内容)

